

2013年2月14日(木)

報道関係者各位

公益財団法人 笹川平和財団 (SPF)

笹川平和財団主催 セミナーのご案内

国連大学マーストリヒト技術革新・経済社会研究所 (UNU-MERIT) 協力

「求められている BOP 技術とは？」

～善意から相互の価値創造へ～

テッド・ロンドン教授講演 2013年3月4日開催

笹川平和財団（東京都港区、会長：羽生次郎）は、2012年10月、BOP技術開発とインキュベーションのためのプロジェクトを立ち上げました。これは、クリーンエネルギー、水、ICT、農業等の分野で潜在力の高いBOP技術を選定し、それらの商品を実地で試した後、日本企業と途上国の社会起業家／企業が協力してインキュベーションを行う試みです。

近年、世界中であらゆる技術が発達を遂げる一方で、BOP層と呼ばれる所得ピラミッドの底辺に属する人々の生活は改善の兆しを見せていません。発展途上国では80%の人は電気の無い生活を送り、ケロシン燃料使用による噴煙や火事のため160万人の人が毎年死亡しています。また、毎日4千人の子供が安全な水へのアクセスが無いために亡くなっていますが、水や薪を集める重労働は女性や子供の仕事です。

この度、本プロジェクトのアドバイザーであり、世界でもBOP研究の第一人者として知られるテッド・ロンドン ミシガン大学教授をお招きします。一ツ橋大学イノベーションセンターの米倉誠一郎教授、経済産業省の森清 貿易経済協力局課長、国連開発計画ならびにアジア開発銀行の第一線にてBOP業務に携わる専門家の方々もお迎えします。現在のBOPビジネスの最先端の状況を語ると共に、日本企業がBOP市場で成功し、貢献するためのビジネスモデルについて議論を展開します。多くの方のご参加を心よりお待ちしております。（プログラムは別紙参照。）

日時： 2013年3月4日（月）15時～18時（14時半受付開始）  
場所： ANA インターコンチネンタルホテル B1階 プロミネンス II  
東京都港区赤坂1-12-33  
（地図）<http://www.anaintercontinental-tokyo.jp/access/>  
定員： 200名  
言語： 日本語・英語（同時通訳あり）

申込方法： 笹川平和財団のウェブサイト [http://www.spf.org/event/article\\_8677.html](http://www.spf.org/event/article_8677.html)  
より2月28日17時までにお申し込み下さい。

お問い合わせ： 事業部、赤坂 [bop\\_seminar@spf.or.jp](mailto:bop_seminar@spf.or.jp) 電話 03-6229-5443

プログラム

- 15:00-15:05 開会挨拶 茶野 順子 笹川平和財団 常務理事
- 15:05-15:15 開会の辞 米倉 誠一郎 一ツ橋大学教授イノベーションセンター
- 15:15-16:00 ご講演 テッド・ロンドン ミシガン大学教授、  
ウィリアム・デヴィットソン・インスティテュート  
「今日の BOP ビジネス - 今日の BOP 市場と市場共創の戦略」
- 16:00-16:15 笹川平和財団／国連開発計画（UNDP）プログラムの紹介  
小木曾 麻里 笹川平和財団 主任研究員
- 16:15-16:30 コーヒー・ブレイク
- 16:30-17:30 パネルディスカッション
- モデレーター： 米倉 誠一郎 一ツ橋大学教授  
パネリスト： 森 清 経済産業省 貿易経済協力局  
通商金融・経済協力課長 兼 戦略輸出室長  
サバ・ソハーニ 国連開発計画（UNDP）ビジネス・  
コール・トゥー・アクション プログラム・マネージャー  
アーミン・パウアー アジア開発銀行 地域・持続的開発局  
主任エコノミスト  
テッド・ロンドン ミシガン大学教授
- 17:30-17:40 閉会の辞 シュアン・サドレガジ  
国連大学マーストリヒト技術革新・経済社会研究所